

広報 やまこし

1983
1月
第175号

発行 新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 印刷 大川印刷株式会社 毎月1日発行



児童

58年1月より 国保の高額療養費 負担限度額が 五万一千円に



お知らせ

私たちが病気やケガをして病院にかかると、国保の場合、三割の自己負担があります。その額が一定額を超えると、その超えた額が払い戻されてきます。これが「高額療養費」です。



その基準となる自己負担の限度額が、今年一月より五万一千円に引き上げられました。(ただし、村民税非課税世帯は三万九千円) ※高額療養費は、①月ごと、②病院・診療所ごと、③総合病院は

各科ごと、④歯科は別、⑤入院と通院は別に計算されます。また、差額ベッドなど、保険扱いとならない費用は含まれませんのでご注意ください。



今年1年を無火災で
1月6日

消防出ぞめ式

して今年の無事を祈るとともに、村民のみなさんへ火災防止を呼びかけるものです。昨年、全国では多くの火災が発生しており、ホテル火災をはじめ悲惨な事故が連日報道されています。また、村内でも二件の火災で消防団が出動しましたが、幸い初期消火することができ、大事に至りませんでした。

電線、電話線にご注意を

雪おろしのシーズンです。雪おろしで、建物に引き込んだる電線、電話線を切らないようご注意ください。



▽切れたり、たれ下がったりした電線には、感電事故防止のため絶対にさわらないでください。▽故障や異常のときは……東北電力山古志出張所 ☎2024 長岡電報電話局故障係 ☎113

全日本錦鯉品評会に多数の出品を

第15回記念全日本総合錦鯉品評会が、全日本錦鯉振興会主催により次の日程で開かれます。全国から出品された優秀な錦鯉の中から「錦鯉日本一」を決める大会です。錦鯉発祥の地として山古志村からも、錦鯉振興のため多数出品ください。

- ▶日程
 - 錦鯉の搬入 1月20日(木)
 - 審査 21日(金)
 - 一般公開 22日(土)
 - 23日(日)
 - 錦鯉の搬出 24日(月)
- ▶会場
 - 東京都大田区平和島6-1-1
 - 東京流通センター展示館
 - ☎03(767)2145~8(会期中)
- ▶出品申込
 - ・申込期限……1月10日(期限厳守)
 - ・申込先……全日本錦鯉振興会事務局(小千谷市) ☎02588313345、(2)7500
 - ・申込手続……漁協または振興会会員を通して申し込んでください。(電話可)
- ▶出品料(1点につき)
 - 1部~3部(25cm以下) 10,000円、4部~9部(25cm~55cm以下) 12,000円、10部~15部(55cm超) 15,000円
- ▶一般公開入場料 1,000円
- ▶その他……出品鯉の輸送について、希望者には漁協で取りまとめて輸送する予定です。出品申込その他詳しいことは役場産業課、漁協、最寄りの振興会会員(村内に39人)へおたずねください。

「今年はおぼくたちの年」

亥年の抱負
竹沢小5年生

- 星野良久くん……算数で分数の計算がうまくできるように。
- 関 龍二くん……陸上大会で、出場種目全てに優勝したい。
- 小川みゆきさん……六年生になるので、決めたことは最後まで。
- 青木麻子さん……かぜをひかずに健康な一年にしたい。
- 星野邦子さん……学習に力を入れがほしい。
- 小川勇二くん……陸上大会の長距離を新記録で優勝したい。
- 星野めぐみさん……公民館の習字教室で一級になるように。
- 星野弓枝さん……特に勉強に力を入れ、算数をがんばりたい。
- 佐藤久美子さん……思いやりのある優しい人になりたい。
- 苅羽潤一くん……授業に集中し、勉強をがんばる。
- 関 圭子さん……学校を休まず、勉強や運動にがんばりたい。
- 高橋光則くん……小学生最後の年を、勉強やスポーツで充実。
- 星野 大くん……何とも、一生けんめいに努力する。
- 星野 涉くん……根気よく、何ともがんばる。

謹賀新年

謹んで新春の御祝詞を申し上げ、村民皆様
の御清祥を心からお慶び申し上げます。
昨年は年明けから良い天候に恵まられま
した。小雪に始まり、これといった災害もなく、
特に秋から暮れにかけての気候は、お年寄り
に聞いても珍しいことだといわれるほどで、
自然条件の厳しい地に住む私共にとって、
天候に恵まれることは誠にありがたいこと
です。本年も良い天候であることを願って
おります。



山古志村長
酒井省吾

新しい建設用地は、通称『諏訪の宮』に確
保いたしました。現庁舎より約三五〇メー
トル小千谷寄りで、面積九〇〇アルほどの風光
明媚な所です。この地が決定されるまでの経
過の中で、関係地主さん方を始め村議会の皆
さんからも特段のご協力をいただきましたこ
とに深く感謝申し上げます。
役場庁舎は、鉄筋コンクリート造り地下一
階地上三階建、延一、七〇〇平方メートル余
を予定しております。村民から親しまれる行
政、開かれた行政の場を念頭に、執務環境を
整えたいと考えております。

総合センターは、役場庁舎の隣りに、鉄筋
コンクリート二階建、延一、〇〇〇平方メー
トル余を予定しております。これまた、皆さ
んから気軽に利用していただくことを第一と
して、ステージ付大ホールを始め、小ホール、
宿泊研修室、図書・視聴覚室、保健相談室、
調理実習室、喫茶談話室などを備え、コミュ
ニティの場として、村づくりの拠点として、
最大に活用できるようにと考えております。
また、総合センターに内科、歯科の診療所を

併せて設置して、より利用しやすいようにと
計画中です。

役場庁舎、総合センターの建設については、
近くその概要をお見せできると思いますが、
村民の皆様よりいっそうの御理解と御協力を
お願いいたします。

山古志も発足以来二十七年を迎えます。今
日は、村内の道路も開け、豪雪時でも通勤
通学が可能となり、生活環境も格段の進展を
見るに至っております。しかし発足当時は、
道路といっても足に頼るしかなく、村民の交
流も思うに任せませんでした。お互いが地区
の役に閉じこもり、地域の利害等が先立ち、
困難な村づくりの道でありました。二十
有余年積み重ねた努力の結果がいかに大きく
尊いのか、先輩各位の村づくりへの情熱に、敬
意と感謝の念を禁じ得ません。

さらにこの村を住み良い環境に整えなが
ら、ふるさと・やまこしに自信と誇りを
持ち続けたいと思っております。そんな意味から
も、役場庁舎、総合センターの建設は、山古
志村の新しい飛躍の出発点としての役割りを
果たすものと信じております。

年頭に当たり、村民皆様方の御健勝をお祈
り申し上げ、さらに山古志村の発展をお誓い
し、御挨拶いたします。



小林繁政さん
(虫亀 35歳)

人生の真中通りを 慎重かつ積極的に

亥年の抱負

昨年は家族みんな健康で、計画
したことも順調に進み、良い年
であった。

本年は自分の年であり、人生の
まさに真中通りである。内外を問
わず厳しい年になると思うが、こ
の厳しさ乗り越える意志があれば、
道はおのずから通ずるはずであ
る。亥のように猛進するときも
必要だが、慎重かつ積極的に物事
に立ち向かいたいものである。

私は、15年前から長岡に通動し
ているが、当初は何年も下宿し
たいへんだった。今では、年間
を通して山古志から通勤できるよ
うになり、家族団らんもできて喜
こんでいる。さらにみんながバス
で冬も通える日が早く来てほしい
ものだと思う。

なにはともあれ、社会、家庭と
も平和で、本年も良い年であるこ
とを願いたい。

元気に年越しを

12月15日虫亀小学校で、4年生
の作った手打ちそばを児童みんな
で食べました。



12月定例 村議会

老人保健会計予算 など、14件を 可決・承認

昭和五十八年第四回定例村議会は、
十二月十五日から十七日まで
開かれました。

二月から老人保健法が施行され
ることにより特別会計予算を定め
るなど十四件の議案が審議され、
それぞれ原案どおり可決・承認さ
れました。

主な概要は次のとおりです。

条例関係

- ▽災害弔慰金支給条例の一部改正
災害障害見舞金が新しく設けら
れました。
- ▽国民健康保険条例の一部改正
老人保健法が二月から施行され
ることによる一部改正。

人事

- ▽教育委員
任期満了に伴い、同委員に長島
源佐さん(虫亀、五十九歳)の再
任が同意されました。

補正予算

- ▽一般会計補正予算(第三号)専決、
第四号

補正第三号で六三八万円、補正
第四号で九一五万円追加され、総
額は一七億一、五四二万円とな
りました。歳出の主なものは次の
とおりです。

診療所会計繰出 (減)三二二万円
農業共済会計繰出(減)三五〇万円
新農構補助金 (減)六二四万円
道路橋りょう費 七六六万円
教育施設基金積立 三〇五万円
災害復旧工事請負費五八二万円

▽特別会計補正予算
国保会計追加一、三九六万円、
診療所会計 (減)一、〇四一万円、
農業共済会計(減)五二八万円が補正
されました。主なものは次のと
おりです。

国保保険給付費一、二九四万円
歯科診療所医療機器購入
農業共済金 (減)一、〇〇〇万円
(減)二八〇万円

老人保健会計

老人保健法が二月から施行され
ることにより、新たに老人保健特
別会計予算一、三〇五万円を定め
ました。

五十八年一月分(三分分は五十
八年度で支払い)の老人医療給付

二月に赤ちゃんが 生まれます



佐藤愛子さん
(二丁野 23歳)

結婚して初めての正月です。料
理も自信ないし、お母さんと相談
したりいろいろ教えてもらって、
なんでも覚えたいと思います。
二月の初めには赤ちゃんが生ま
れます。最初の子は男の子が
かなって思っていたんですが、周
りの人が私を見て「そりゃ九九%
女の子だ」……とにかく無事に
生まれてきてほしいですね。それ
と、家族全員が健康で明るく過
せることが最高です。

今年はずいぶん忙しそうです。主人
啓一さんは(南山建設)を経営必
要です。車がないと動きがとれ
ませんから。

亥年の抱負
実家は虫亀で、結婚前は都会に
出ていたんですが、ここに嫁いで
来て実家も近いし人間も温かいし、
本当に良かったと思っています。
都会に行っている同級生などに
も、こっちに帰って来いと聞いた
いですね。

その他

▽寄附の受け入れ
虫亀小学校ステージ幕を設置す
ることについて、虫亀区長よりの
寄附受け入れが議決されました。

内閣総理大臣ほかに対し、村議
会より二件の意見書を提出するこ
とが決まりました。
・農畜産物の輸入自由化、わく抜
大抑制に関する意見書
・国家公務員の人事院勧告完全実
施を求める意見書



▲12月15日、池谷小5、6年生と婦人会の方が
議事を傍聴し、熱心にメモをとっていました。

おどろきまします

民芸品作りで仲間づくり

「こしよちやおつこし、こしよちやおつこししながら」

種芋原の 諸橋松一さん

諸橋松一さん(62歳)は、種芋原民芸品クラブに入会し、ワラ細工の民芸品等を作って約八年になります。



民芸品クラブは、小川信義さんを会長に会員二十人。ミニチュアの民具や宝船などを作っています。五、六年前から種芋原熊野神社と中野十二山神社にしめ縄を奉納しており、今回も十二月二十六日に集まって、長さ九尺余りのしめ縄を作りました。また現在、三月三日の浦佐毘沙門様に五百足のワラジの注文を受け、作り始めています。

「民芸品を作るのは楽しいし、仲間もいっぱいいる。でも、作ってもそう売れるものでもないし、少しずつやって、クラブを絶やさねんしょうと言って、さねんしょうという諸橋さん。仲間づくりが一番の目的で、なかなか商売にはならないとのことです。」

「若いころ見たことがあって、作ってみよう。」

それで八十歳過ぎの年寄りに作り方の



マミノボウシ

毎年元日に鎮守様へ子ども達とお詣りに行き、過ぎた年のお礼と今年の家内安全、交通安全を祈願して新しい年を迎えます。いつも自分に対し感謝の気持ちを持ち、家族が健康で楽しく過ごさせてもらうよう心がけています。

最近物忘れがひどくなり、自分

亥年の抱負

親らしくつっぱって 子どもの相談相手に



風間 イツさん (種芋原 47歳)

でも事欠くことがたびたびありますが、両親や主人の温かい思いやりから何とか笑ってごまかしている毎日です。

今年、高校生の息子が進路を決める大事な年です。少しは親らしくつっぱって相談相手となつて、本人に合った就職をと願っています。

両親も元気ですし、仕事をすることが健康に一番と、働くことに喜びを持つ我が家です。今年も一生懸命に明るい家庭を守りながら米や野菜作りに励むつもりです。



子どもの家庭教育を考える(13)

一年生の教室

ある小学校、一年生の教室の様子です。

朝の会がぎやかに終わって、一時間目の授業になりました。ペテランのA先生は、子どもたちの反応を見ながら静かに授業を進めていきます。

A先生は、先程から普段の様子

の違う子ども二人を注意しながら観察しています。

B夫君は、時々しかめつづらをしながらモゾモゾと落ち着きません。C男君とD子さんは、ボケーと窓の外を見ています。二人とも学習に全く気が向いていません。

「なにかあったな」

一時間目の終わりのチャイムが鳴ったとき、A先生は三人を呼び寄せました。

「B夫君、どうしたの？」
B夫君、おなかをおさえて「あのね、おなかがいたい」
「おなかを見せてごらん」
B夫君のおなかにはパンパンに張っています。

「D子さんは、どうしたの？」
「あのね、朝ね、おとうさんとおかあさんがけんかしました」
「ふーん」
「けんかしててね、私が『行ってきます』と言ったのに、『行ってらっしゃい』って言ってくれません」

「C男君は、どうしたの？」
「先生、ぼく、おなかが空きました」
「どうして？」
「朝ねぼうしてね、ごはん食べ

「さびしかったの？」
D子さんは、メソメソ泣き出してしまいました。
「ここまでの話を、みなさんは、『作り話だ』と思われるようならいいですね。
でも、実際、この教室の三人の子どものような話があるのです。いいえ、まだまだ他にも例がたくさん——もっと大きな子どもにも、もっと小さな子どもにも、ボケーとして勉強に身が入らない。ソワソワして落ち着かない。「うちの子はどうしてこんなでしよう」と悩む前に、親自身が原因を作っていないか、ふりかえってみませんか。

会を 映西を 見る

『中学生日記』歩き続けて
……万引きをし、発覚後も罪を意識しない中学生。そのとき教師は、母親は、そして父親は。

赤い羽根・歳末たすけあい

募金にご協力 ありがとうございます

赤い羽根共同募金
募金額 四六一、〇〇〇円
(目標 四六一、〇〇〇円)
この募金は、県共同募金会に

『揺れ動く高校受験生』ある中学校教師の記録
……厳しい世相の中で、高校入試に追われている中学生たち。その心は微妙に揺れ動く。
▼期日、会場
1月10日(月)種芋原農協2階
11日(火)山古志中理科室
▼時間 午後7時半～8時半
▼対象 村民一般
▼主催 教育委員会

集められ、社会福祉施設の充実や、村社会福祉協議会に還元されて村の福祉活動に使われます。
▼歳末たすけあい運動
募金額 二五六、八四四円
(目標 二八〇、〇〇〇円)
ねたきりや一人暮らしの老人、母子家庭、福祉施設入所者などに届けました。みなさんの温かい気持ちが大変感謝されたことをお伝えします。

亥年の抱負

若い人と違って、何かやりたいとか特別にはないが、家族が健康で昨年同様のいい年であれば願っています。

農業は稲四反、レンコン九畝、畑を少し。去年は六十年に一回の天候。今年はずいぶん良い天候はないと、その分農作業に注意しなければならぬと思います。
ところで、村内で七町歩以上耕作しているレンコンですが、みんな

去年は60年に1度の天候 今年はその分農作業に注意



齋藤 一さん (池谷 59歳)

なからもう少し真剣を出してもらいたいですね。一反でもいい年なら千五百kg以上とれますし、秋に早く掘れば、まだそんなに回収つけないので価格も安定しています。春と秋は忙しいですが、去年水掘り(ポンプ等を使い水庄で掘る)をしたら手間は半分でした。
去年の春次男が帰ってきて、しばらくこっちで暮らしてみると言っており、できれば残ってくれるといいのですが。